

1 つぎの文章を読んで問題に答えましょう。

ぼくは運動が得意ではなく、特に逆上がりがにがてだ。何度やっても足が地面に落ちてしまい、3年生のころは「まあ、できなくてもいいや」と思っていた。

でも4年生になった初めの体育で、先生が言った。

「今年は、挑戦する気持ち^ちを大切にしてみよう。」

その言葉が、ぼくの胸の奥に小さく残った。できる子たちが軽やかに鉄棒を回る姿を見ると、「ぼくもできたらいいな」という思いが、静かにふくらんでいた。

放課後、ぼくは帰ろうとした足を鉄棒へ向けた。

だれもない校庭で、夕日だけが鉄棒を照らしている。ぼくは鉄棒をにぎり、思いきってけりあげた。

しかし体は回らない。何度試しても、手が痛くなるだけだった。

「やっぱり、むずかしいよ……。」

そのときうしろから声がした。

「がんばってるね。」

まさとが立っていた。逆上がりが得意で、体育でもよく見本を見せてくれる子だ。

「どうしてもできないんだ」と弱音をもらしたぼくに、まさとは言った。

「誰だって最初はできないよ。少しやり方を変えるだけで、急にできることもあるんだ。」

まさとは逆上がりのコツをゆっくり見せてくれた。

「鉄棒に体を近づける感じで、手をひきつけながら足を上げるんだよ。」

ぼくは何度も試した。まだ回れないけれど、体が少し軽くなる瞬間があった。

その日はできなかったけれど、ぼくの中でひとつだけ変化が起きていた。

――あきらめなければ、前に進めるかもしれない。

次の日も、またその次の日も、ぼくは鉄棒へ向かった。手にまめができて、なぜか続けられた。昨日より少し足が上がった気がする。そんな小さな変

化がうれしかった。

一週間ほどたったころ、ぼくは深く息を吸い、鉄棒をしっかりとぎった。

「行くぞ……!!」

けりあげた体がふわっと浮き、視界がぐるりと回った。気づくとぼくは鉄棒の上にいた。

「……できた?」

もう一度やってみると、今度ははつきりと成功した。

胸の奥が熱くなり、空に向かって叫びたい気持ちになった。

「できた……ほんとうにできた!」

帰り道、景色がいつもより明るく感じた。ふつうの道なのに、歩く足どりが軽かった。その夜、ぼくは気づいた。

「挑戦するって、成功したからすごいのではない、できないときにやめずに続けようとする気持ちなんだ。」

逆上がりができたことより、その気づきのほうがぼくには大切に思えた。

次の日、まさとに言う、まさとはにっこり笑った。

「おめでとう。ずっと挑戦してたの、知ってたよ。」

その言葉を聞いたとき、ぼくの胸の奥で静かに何かがあったかくひかった。

――挑戦する気持ちは、ぼくを強くしてくれる。



(1)

主人公が逆上がりができなくても気にしていなかったのは、どのような理由からですか。最も適切なものを次の中からえらび番号を○でかこみましょう。

- ① 体育の授業がきらいだったから
- ② 3年生のころはできなくてもいいと思っていたから
- ③ ほかの種目が得意だったから

(2)

次の文の（ ）に、語群から適切な言葉を入れましょう。

「逆上がりでは、体を鉄棒に（ ）るようにし、手を（ ）ながら足を上げる動きが大切だと、（ ）は助言した。」

【語群】

- ① 近づけ
- ② ひきつけ
- ③ たかし
- ④ まさと

(3)

本文の内容と合っていれば○、まちがっていれば×を書きましょう。

- （ ） 主人公は、練習がうまくいかない日も休日在校庭の鉄棒へ練習しに行った。
- （ ） 主人公は、失敗が続いたので1週間後には練習をあきらめた。
- （ ） 主人公は、少しでも前に進んでいると感じることで続けられた。

(4)

次の出来事を起こった順に並べかえなさい。

- ① まさとが逆上がりのコツを教えてください。
- ② 主人公が放課後にひとりで鉄棒へ行く。
- ③ 逆上がりがついに成功する。
- ④ 体育の時間に先生が「挑戦する気持ち」を大切に言う。



(5)

主人公が「鉄棒を続けよう」と思えた理由を、本文を参考に三十字以内で書きましょう。

(6)

主人公は、経験から「あきらめず挑戦すること」についてどんな気づきを得ましたか。本文の内容に合わせて三十字以内で書きましょう。

(1)

主人公が逆上がりができなくても気にしていなかったのは、どのような理由からですか。最も適切なものを次の中からえらび番号を○でかこみましょう。

- ① 体育の授業がきらいだったから
- ② 3年生のころはできなくてもいいと思っていたから
- ③ ほかの種目が得意だったから

(2)

次の文の（ ）に、語群から適切な言葉を入れましょう。

「逆上がりでは、体を鉄棒に（①）るようにし、手を（②）ながら足を上げる動きが大切だと、（④）は助言した。」

【語群】

- ① 近づけ
- ② ひきつけ
- ③ たかし
- ④ まさと

(3)

本文の内容と合っていれば○、まちがっていれば×を書きましょう。

- （×）主人公は、練習がうまくいかない日も休日在校庭の鉄棒へ練習しに行った。
- （×）主人公は、失敗が続いたので1週間後には練習をあきらめた。
- （○）主人公は、少しでも前に進んでいると感じることで続けられた。

(4)

次の出来事を起こった順に並べかえなさい。

- ① まさとが逆上りのコツを教えてください。
- ② 主人公が放課後にひとりで鉄棒へ行く。
- ③ 逆上がりがついに成功する。
- ④ 体育の時間に先生が「挑戦する気持ち」を大切に言う。

④ ↓ ② ↓ ① ↓ ③

(5)

主人公が「鉄棒を続けよう」と思えた理由を、本文を参考に三十字以内で書きましょう。

解答例
少しずつ前に進んでいると実感できたから。

(6)

主人公は、経験から「あきらめず挑戦すること」についてどんな気づきを得ましたか。本文の内容に合わせて三十字以内で書きましょう。

解答例
続ける気持ちが自分を成長させる大切さに気づいた。